

マイクロプロセス最前線シリーズ - 来たるべき変革に向けた始動 -

～ 講演 & 展示 ～

主催 化学工学会関西支部

協賛 岡山マイクロリアクターネット、化学工学会反応工学部会マイクロ化学プロセス分科会
近畿化学協会、触媒学会、日本化学会近畿支部、日本プロセス化学会、日本薬学会近畿支部
有機合成化学協会関西支部

所属や専門性の枠を超えてマイクロ/フロー化学・コンパクトプロセス技術の社会実装を目指す、そのような風土を醸成すべく立ち上げた本シリーズも5回目を迎えます。一方この間、世界経済、地球環境、先端技術などの変化はスピードを増しており、我が国の化学産業界も待たなしの変革を迫られています。そこで今回は、来たるべき変革を見据え当技術開発はどこに向かうべきなのか、を共に考え議論できる場を提供します。具体的には、大好評だった昨年の形式を踏襲し、経営研究視点、技術開発視点からの2つの講演、最新シーズの大学ポスター発表、現在進行中の開発テーマ中心の企業ポスター発表、および、多彩な分野の企業からなる展示会を企画しました。奮ってご参加ください。

日時 平成30年11月20日(火) 10:00～18:00

場所 大阪科学技術センター8階 中ホール・小ホール

[大阪市西区靱本町1-8-4、TEL.06-6443-5324]

<交通>地下鉄四つ橋線「本町」駅25・28番出口より北へ徒歩約7分、うつぼ公園北詰。

プログラム

1. [招待講演] デジタル化時代のものづくり (10:00～12:00)

東京大学大学院経済学研究科 教授 兼 ものづくり経営研究センター長 藤本 隆宏 氏

グローバル化とデジタル化の時代に、日本のものづくり産業の現場と本社は何をすべきかを能力構築とアーキテクチャ戦略の両面から考える。

2. ポスターセッションおよび展示会 (12:00～15:00) =昼食は適宜お済ませください=

◆展示企業ショートプレゼンテーション 於:中ホール

◆ポスター発表および展示会 於:小ホール

【大学からの最新シーズに関するポスター発表】

1) 連続式小型晶析装置による有機化合物の粒径及び多形の制御

大阪市立大学大学院工学研究科 准教授 五十嵐 幸一 氏

2) マイクロ空間を利用した乳化重合のフロープロセスへの応用

岡山大学大学院自然科学研究科 教授 小野 努 氏

3) マイクロチャネル内の非定常渦流発生による迅速混合

神戸大学大学院工学研究科 助教 堀江 孝史 氏

4) インクジェット吐出液滴を利用した微粒子合成

京都大学大学院工学研究科 准教授 牧 泰輔 氏

【企業での成果 もしくは現状の取り組みに関するポスター発表】

1) 工業化を加速させるためのフローマイクロリアクタ基盤技術開発への取り組み

味の素(株)イノベーション研究所フロンティア研究所 研究員 中原 祐一 氏

2) フローリアクターを用いた合成反応および重合反応の検討事例

(株)カネカ 生産技術研究所生産技術研究グループ 基幹研究員 大石 孝洋 氏

3) 実生産プロセス向け大容量マイクロチャネルリアクターの開発

(株)神戸製鋼所技術開発本部 機械研究所 研究員 松岡 亮 氏

4) ダイキン工業での環境調和型生産プロセス開発の紹介

ダイキン工業(株)化学事業部プロセス技術部 野口 敦史 氏、太刀川 祥平 氏

5) トリクルベッドリアクターを用いた水素化反応の紹介

千代田化工建設(株)研究開発センター グループリーダー 角 茂 氏

【企業展示】 於:小ホール

(株)朝日ラボ交易、京セラ(株)、(株)神戸製鋼所、(株)タクミナ、マックエンジニアリング(株)

(株)MiChs、(株)ワイ・ディ・シー

3. [基調講演] マイクロ・フロー合成における化学プロセス技術の考察と展望 (15:00～16:00)

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授 外輪 健一郎 氏

マイクロリアクタやフロー技術といった新しいプロセス技術が注目されている。これらを進展させるためには化学および化学工学分野の双方の貢献が必須である。本講演では、マイクロリアクタの特性について考察したうえで、今後のマイクロ・フロー技術の展望について私見を述べ、議論したい。

4. 情報交換交流会 (ミキサー) (16:00～18:00) 於:小ホール、参加無料

※交流会中もポスター発表、企業展示は継続します。

参加費 主催・協賛団体個人正会員20,000円、主催・協賛団体所属法人会員23,000円、学生会員3,000円、
大学・公設機関 7,000円、会員外学生5,000円、会員外37,000円(何れもテキスト代・消費税込)

申込締切 定員(80名)になり次第締切

申込方法 Web上の参加申込フォーム (<http://www.kansai-scej.org/2018/1120micro.html>) をご利用ください。または、E-mail等にて本行事名を題記し、1) 参加者氏名、2) 勤務先(所属)、3) 連絡先(住所、郵便・電話番号、E-mail)、4) 会員資格、5) 請求書の要否、6) 送金予定日を明記のうえ、下記宛にお申し込みください。参加費の送金は銀行振込[りそな銀行御堂筋支店 普通預金No.0405228 名義 公益社団法人化学工学会関西支部]をご利用願います。参加者には11月上旬に参加証を送付します。

※主催・協賛団体の他支部に所属の場合でも主催・協賛団体所属会員としてお取扱いたします。

※会員外の方へ:化学工学会正会員へ入会されると、25,500円([参加費20,000円]+[H30年度年会費 下期(9月～2月分) 5,500円])での参加が可能です。詳しくは下記にお問い合わせください。

申込先 公益社団法人 化学工学会関西支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL. 06-6441-5531, FAX. 06-6443-6685, E-mail: apply@kansai-scej.org

